

秋田市卸売市場再整備基本計画（素案）に対する意見募集結果

意見募集期間 令和6年4月1日（月）から令和6年4月30日（火）まで

意見提出者数 20名（パブリックコメント3名、市民100人会17名）

意見数 37件（市場再整備に関すること16件、余剰地の活用に関すること5件、まちづくり・新スタジアムに関すること12件、その他4件）

No.	一覧No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
1	1	1	P2 卸売市場の活動状況が、直接市民に伝わっていないため、根本的にそのあり方が問われると思います。 ”外旭川の活性化”に映り、限定したメリットにしか思えません。	卸売市場は、青果物、水産物、花きの生鮮品を適正価格で取引し、市民・県民に安定的に供給する役割を担っています。そうした活動を、広報あきた等を通じて、市民に分かりやすく伝えてまいります。
2	1	2	P30 余剰地の利用についても、サッカーJ2リーグのスタジアムに充てる事について納得できない。一部でしか盛り上がりを感じない。秋田の将来に貢献するとは思えません。	新スタジアムについては、サッカー以外の競技やイベント、県民・市民の健康増進に向けた活用なども幅広く検討しているところであり、年間を通して多目的利用が可能なスタジアムとすることで、交流人口の拡大による新たな活力や魅力づくりにもつなげたいと考えています。
3	1	3	P48 関連事業者の撤退していることが分かり、存続自体、困難ではないかと思えます。	再整備後の卸売市場においても、市場内事業者が事業継続できるよう取り組んでまいります。
4	1	4	秋田駅周辺の再開発に充てる費用が、外旭川に分散しているのも好ましくないと考えます。	外旭川地区において、民間事業者の知見と資金を活用し、人口減少下にあっても持続可能なまちづくりのモデル地区を官民連携により整備しようとするものであり、行財政運営の観点から、中心市街地の活性化や市民に必要な事業などについても、適切な予算配分に努めております。
5	2	1	こんなに拗れるなら、白紙にしたら。そもそも外旭川地区に中途半端なイオンはいらない。市場だけあればいいし、そこにサッカー場持ってくるのもいかなものかと。御所野イオンタウン規模でないと、秋田市の活性化にならない。県と協議して、県民投票で開発進めていくのか否かを問うべき今の話し合いは、市県民が不在の話し合いじゃないですか！サッカー場は秋田空港周辺でいいんじゃないかな。 追記 能代東のイオンタウンなんか開店当初は賑やかだったが今は閑古鳥みたいな話しだし机上の話は、市民がわからないからマスコミ通じて、税金がいくら使われるのか、毎日そのイオンには、何人が来店するのかわからないとね。	外旭川地区のまちづくりは、大規模商業施設を整備するものではなく、官民連携による将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備しようとするものであり、卸売市場の再整備と新スタジアムならびに民間施設を一体的に進めることによる様々な相乗効果を生かし、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指しています。

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
6	3	1	<p>令和5年3月に策定された基本構想を反映して計画素案を進めているものと思われるが、現在、秋田県のみならず日本全体で経済状況、インフレ、物流にかかる諸問題など激しく動いている状況と思われることから、将来的には、計画上で想定した以上の多くの諸問題に直面するのではないかと思慮している。(少なくとも、このような社会情勢が不安定な今のような時期に大きな計画決定判断はすべきではない)</p> <p>全国的に見ても特に秋田県は、経済規模、主要産業、人口動態等の観点から全国ワーストクラスの水準であるという現実的な問題を抱えていることから、抜本的な解決も無いままに(先進事例として、43から47pに全国の他市場の例を挙げているが)他都道府県の事例をそのまま倣うようなことはせずに、再整備を行うとしても、社会の変化動向を慎重に注視して真に必要な最低限のコンパクトな整備に留めるべきであると考えている。</p> <p>現実的に「街の身の丈に合った」計画が賢明と考えている。</p> <p>施設規模、施設配置などは具体的計画を策定しているものの、事業収支シミュレーションは検討中(37p)と、明確に示されていないことから、この計画事態が本当に必要に見合った計画なのかと疑念が残るが、最も疑念を感じるのは、(30p)余剰地活用として挙げている、ブラウブリッツ秋田の新スタジアム活用方針である。</p> <p>元来、この新スタジアム構想が挙がって以降、あたかも計画がトントン拍子かのように話が進んでいくことに疑念を抱いていた。</p> <p>秋田にJ1基準を見据える規模のスタジアムを構えるというのは、(集客規模、経営基盤、県民のサッカー熱などの面で)明らかに身の丈に合っておらず、新スタジアムありきで計画を進めてブラウブリッツ秋田自体の集客や経営が追いつかずに赤字運営するようでは、真に秋田市民、秋田県民から必要とされるクラブとは到底言えないと感じる。</p> <p>仮にJリーグのライセンス基準に振り回されてライセンス基準をクリアしても、ギラヴァンツ北九州のように降格によって無惨な事態に陥ることは現実的にあり得ることである。</p> <p>この新スタジアム構想に対しては、佐竹知事が明確にストップの意思を示したことに妥当だと感じている。(正直な所、スタジアム構想に関しては、知事は市長よりも賢明な判断をしていると感じている。)</p> <p>余剰地活用として記載されたブラウブリッツ新スタジアム構想についての記載が多くなってしまったが、この整備試算として話題になった30億円というのは他の一般会計と比較しても過剰に感じたためである。</p> <p>広報あきた4月5日号に令和6年度予算編成が紹介されていたが、昨年度の大雨被害を受けての災害対策・整備にかかる予算の少なさを見て、予算の割き方に疑念を抱いた。</p> <p>個人的には、「老朽化した秋田市卸売市場の再整備」よりも真っ先に見直すべき秋田市の問題であると感じる。</p> <p>市民からの目線では、「こんな街に住んでいられるか」という見方をされても仕方のない災害だったと思うし、市民の実生活にかかる問題であるため、概ねそのような問題に対して予算を割くべきであると考えている。</p>	<p>卸売市場の再整備に当たっては、市場内事業者が将来にわたって事業継続ができるよう配慮しながら、必要な施設規模・機能等について精査しているところであり、事業収支も含め策定中の再整備基本計画の中で示してまいります。</p> <p>外旭川地区のまちづくりは、官民連携による将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備し、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築と交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目指すものであり、行財政運営の観点から、災害対策や市民が必要とする事業などについても、適切な予算配分に努めております。</p> <p>地域資源であるトップスポーツの力を原動力に、地域意識の高揚や、都市イメージの向上、交流人口の拡大につなげるとともに、市民がライフステージに応じて気軽にスポーツを楽しみ、健康や生きがいがいづくりができる環境整備に向け、新スタジアムをまちづくりの要素の1つに位置付け、県やブラウブリッツ秋田とともに、これまで検討を重ねてきているものです。</p> <p>その他のいただいたご意見については、関係部署にお伝えいたします。</p>

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
7	4	1	秋田市卸売市場の再整備計画素案については、まず市場を運営する事業者の意見を十分に反映させたものでなければならないと考えます。 秋田の食を担っている関連事業者が今後とも安定した事業継続ができる計画でなければ消費者にとってマイナスであり、これまで秋田の食を支えてきた市場関係者・事業者が、就業人口の減少、働き方の多様性等今後進展するであろう環境の変化に対応できる計画であってほしい。	卸売市場の再整備に当たっては、市場内事業者が将来にわたって事業継続ができるよう配慮しながら、必要な施設規模・機能等について精査しているところであり、策定中の再整備基本計画の中で示してまいります。 再整備後の卸売市場の規模や機能については、市場内事業者と協議を重ね、事業者の意向を可能な限り反映できるよう配慮してまいります。
8	5	1	P1 経年劣化による改修や修繕に多額の費用を要している事や取扱量の減少に対して市場の再整備が必要なのは理解出来る。	再整備基本計画に賛同いただけるご意見として承りました。
9	5	2	P2 県内の市場の中で6割超のトップシェアをもちながら、取扱量の減少、事業者の減少、業者の役割の変化、施設の老朽化でニーズ対応の遅れや農林水産業を取り巻く環境の変化はきびしいと思われまます。	ご指摘のとおり、卸売市場の取扱数量は年々減少しております。 卸売市場の再整備に当たっては、市場内事業者が将来にわたって事業継続ができるよう配慮しながら、必要な施設規模・機能等について精査しているところであり、策定中の再整備基本計画の中で示してまいります。
10	5	3	P4 再整備パターン3は余剰地をサッカースタジアムとして利用する予定なのでしょうか？道路に近いスペースを確保しているのその為に見えます。	北側を余剰地とする新たな案は、すでに示していた2つの施設配置案よりも工期短縮が可能であるため採用しようとするものであり、新スタジアムの整備を目的としたものではありません。
11	5	4	P48～49 業者へのアンケートを見ると使用料が変更されるなら撤退を考える。道の駅などの併設については関わる気がないとの意見が多く、P33の使用料の試算ではかなり増加すると思われるので撤退をする業者も出るのではないのでしょうか？	ご指摘の関連事業者アンケートについては、卸売業者および仲卸業者を除いたアンケートであり、市場内事業者全体のアンケートは、6月末に策定する再整備基本計画に追加いたします。 卸売市場の再整備は、施設が開放型でコールドチェーンに対応した構造となっていないため、品質管理に支障があることや、増築を重ねてきたことにより市場内の動線に不具合が生じていることなど、現代の流通形態や社会的ニーズへの対応が困難となっていることから取り組むものであり、本市としては長期にわたって市場機能は維持していくべきものと考えております。
12	5	5	また、一般市民を対象とした機能に関わる気がない業者が多いのであれば、外旭川のまちづくりは無理ではないのでしょうか？	外旭川地区のまちづくりについては、市議会をはじめ、学識経験者など様々な分野の方から意見や助言をいただきながら検討を進めており、ここでの成果を波及させることにより、市民の利便性の向上や全市域の充実・発展につなげたいと考えています。

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
13	6	1	<p>新たなスタジアムは必要ない。 新しく造るより現在あるスタジアム(競技場)を整備し活用した方が良い。 イオンも新たに造る必要ない。 御所野に、あれだけの大きなイオンがあるのだから、比較的に近い場所にイオンは要らない。 集客が必要ならば是非「コストコ」をお願いしたい。 コストコは宮城、山形にはあるが遠すぎる。秋田にあれば県内のみならず、岩手、青森からも集客が望める。 限られた人が使用するスタジアムより、多くの人が利用出来る物を造って欲しい。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、新スタジアムの整備を条件として特例的に交付を受けているものであり、既存施設の改修や増築では認められず、ライセンスは不交付となります。 また、外旭川地区のまちづくりは、大規模商業施設を整備するのではなく、官民連携による将来を見据えたまちづくりのモデル地区を整備し、人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築や、交流人口の拡大による新しい活力や魅力づくりを目的としているものです。</p>
14	7	1	<p>P12 私は1回も卸売市場に行ったことはありません。市民市場の方が近いということもありますが。 市場の規模は、これから人口も少なくなり消費も減っていくことを考えれば、小さくコンパクトの方がいいと思います。パターンAを指示します。大きな器を作っても人が来ないのでは意味がないし、建築費用も少なく済むと思うので。</p>	<p>卸売市場の再整備に当たっては、市場内事業者が将来にわたって事業継続ができるよう配慮しながら、必要な施設規模・機能等について精査しているところであり、策定中の再整備基本計画の中で示してまいります。</p>
15	7	2	<p>その他 関係ないことですが、スタジアムと卸売市場の整備は別個に考えた方がいいと思います。私はスタジアムは現在の八橋に、ドーム付きのスタジアムの建設の方が将来のためにも良いと思います。交通の便とかコンパクトシティを進めるにも当たって、その方がいいと考えます。</p>	<p>新スタジアムについては、卸売市場の再整備および民間施設の整備と一体的に進めることによる様々な相乗効果も目指し、外旭川地区のまちづくりの要素の一つに位置付けたものです。また、スタジアム全体を覆う屋根については、整備の主体となるブラウブリッツ秋田が実現性を踏まえた見直しを行い、設けないこととしたものです。</p>
16	8	1	<p>P30の余剰地へのスタジアム整備に関する記載を削除するか、スタジアム整備が行われない場合の余剰地の活用についても記載すべきです。 スタジアムをこの地域に整備することを県と市で合意した事実はいまだありません。県はこの計画を含む全体計画に明確に反対しています。 先日の市長の記者会見においては、スタジアムと商業施設の開発は切り離し、さらにスタジアム整備地の変更にも含みを持たせるような発言もありました。 今後、スタジアムの整備が白紙となる可能性があり、白紙となる場合、この計画についても見直しを迫られることとなり、市場整備が進まなくなるおそれがあります。スタジアム整備が行われない場合の当該エリアの活用内容についてもこの計画に明記しておくことで、速やかに市場を整備できるようにすべきです。 P48～49ページの市場関係者のアンケートにおいて、同一敷地内への観光施設との連携に否定的な意見が大半を占めているにもかかわらず、P30にスタジアム整備と連携を図ることが当然のように明記されるのは、市場からの意見をないがしろにしているように感じました。P30の「余剰地の活用については、卸売市場との機能連携を前提とする」との記載はあらためるべきです。</p>	<p>余剰地(市有地)の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。</p>

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
17	9	1	<p>資料自体は見やすく、わかりやすくまとめられていると思う。</p> <p>課題が多いのは理解できるが、秋田にもっと活気をもたらす為にも前向きな挑戦であるアピールが必要なのではないかと感じた。なぜなら最後のアンケートで一般向けには消極的な事業者さんが多くいるのだという印象を受けてしまった。</p> <p>秋田の良いところを発信していくのは結局は「人」だと思うので、将来イメージに確実に近づけるようにプラスに人が関われる対応や補助を行政に期待します。</p>	再整備後の卸売市場においても、市場内事業者が事業継続できるよう取り組んでまいります。
18	10	1	<p>P31 事業手法を明らかにする。</p>	事業手法については、6月末に策定する再整備基本計画でお示しいたします。
19	10	2	<p>P37 事業収支のシミュレーションを明らかにする。</p> <p>以上を具体化しないことには、どんなにすばらしい公的事业であっても妥当性を検討できないのではないかと。</p>	事業収支シミュレーションについては、6月末に策定する再整備基本計画でお示しいたします。
20	11	1	<p>本計画を読んで、卸売市場の役割の変化への対応、新しい時代のニーズに合った建物や設備の整備、規模の検討、余剰地の活用法等、たくさんの課題をかかえた再整備計画であることがわかり、また莫大な事業費や年数がかかることを知り、単に老朽化したものを建てかえるだけという自分の認識を根底からあらためているところである。</p> <p>本計画は緻密なリサーチとあらゆる角度からの検討、それらを踏まえた計画とスケジュール作成、また他県の取り組み事例を参考にするなど、すぐれた計画であると思う。</p> <p>ただし、懸念材料として、余剰地の活用や外旭川計画にばかり、世間の耳目が集まり、かんじんのこの計画が市民に浸透していないのではないかと、また余剰地の活用とは切りはなして、本来の計画を粛々とすすめた方が良いと思う。</p> <p>事業者のアンケート結果であるが、「10年後も事業を継続している」が37.5%、「使用料があがっても必要な面積を確保したい」が12.5%と非常に消極的な結果がでていて、驚いた。果たしてりっぱな建てものはできたが、いざ入居の段階になって、余剰地の活用もままならず、（ブラウブリッツの計画ははじめから赤字予算である）市場使用料が更にあがり、撤退する事業者が増えるなどということにならなければよいが。</p> <p>一市民としての希望</p> <p>他県のとりくみにもあるように、にぎわい機能の創出や見学エリアの設置等で、市場がより市民に親しみやすくなればよいと思う。</p>	<p>余剰地（市有地）の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。</p> <p>また、にぎわい創出に関する機能、見学エリアの設置については、今後の設計段階において、設置の有無・規模について検討してまいります。</p>

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
21	12	1	<p>P40 イ(ア)</p> <p>想定される余剰地の活用用地 卸売市場は従来通り必要としても、他の施設の必要性には疑問を感じる。物価高、財政難の中、市民の税での出費はいかがなものか…と。 余剰地の活用はあくまでも市場と関連あるもので、サッカースタジアムや他の施設の必要性は考えられない。集客を予想しての計画であり、人口減なども大きな問題であり、将来の見通しが全く見えない。 ※それより現在の有料駐車場の無料化など小さな事ではあるかも知れないが、展示会や買い物に出向いた時など、時間を気にせず利用出来るよう、利用者の立場で足元の小さな事を考えて欲しい。</p>	<p>余剰地（市有地）の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。</p>
22	13	1	<p>P30</p> <p>余剰地活用の検討 余剰地はブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアム建設地とあるが、最近の新聞情報によれば、新スタジアムの運営費は赤字なるとあります。 貴職の計画では、余剰地の賃貸借による歳入の確保により、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の負担軽減を図るとしている。赤字なる企業から安定的な賃貸借料確保が出来るか甚だ疑問である。賃貸借による歳入をゼロとして再考すべきです。</p>	<p>余剰地（市有地）の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。</p>
23	13	2	<p>その他</p> <p>ブラウブリッツ秋田の本拠地を八橋陸上競技場として施設周辺に2階観客席を増築すべく再考願います。</p>	<p>ブラウブリッツ秋田のクラブライセンスは、新スタジアムの整備を条件として特例的に交付を受けているものであり、既存施設の改修や増築では認められず、ライセンスは不交付となります。</p>
24	14	1	<p>卸売市場という特殊な施設であり、素人の私には難解のことが多く、もしかしてこんなこともあればなという点を記入させていただきます。</p> <p>全体</p> <p>①語句説明がほしい（素案の中に、※として説明されているものもある）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コールドチェーン ・フードアクセス ・スクラップアンドビルド ・HACCP ・大ロット販売 ・クランク ・ウイング車 ・PFI方式 ・PPP手法 ・定性的VFMの分析 ・定量的VFMの分析 ・ファニチャーセンター等々 	<p>基本計画における機能・施設整備に関する説明が分かりづらいという意見と承りました。ご要望の用語説明については、6月末に策定する再整備基本計画で解説を追加し対応いたします。</p>

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
25	14	2	P30 ②余剰地の活用について あくまでも市場機能と連携して活性化につながる民間収益施設の誘致がいいのではと思う。(計画にあるサッカースタジアムではないのでは。サッカースタジアムそのものが活性化するように、スタジアムを主にして整備していくのがよいのではと思う。)	余剰地(市有地)の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。
26	14	3	全体 ③外旭川まちづくり事業の一部見直しについて 4月11日に市長の記者会見でサッカースタジアム等についての言及もあった。これまでアンケート等による意見や情報収集がなされてきているが、どの程度基本計画策定に生かされてきたのかなと思ってしまうところです。まちづくりがより良い方に向かうよう、早め早めの意見等のとりまとめを行い、策定等に生かしてほしいと思う。	外旭川地区のまちづくりに関していただいたご意見については、市議会やホームページ等を通して本市の考え方や対応をお示しするとともに、計画策定において参考とさせていただきます。
27	15	1	機能・施設整備計画の内容を見ても良くわからない。	基本計画における機能・施設整備に関する説明が分かりづらいという意見と承りました。用語説明について、6月末に策定する再整備基本計画で解説を追加し対応いたします。
28	15	2	P49 問4 卸売市場は、事業者向けの場でよいので、一般市民対象の機能は必要ないに賛成です。	再整備後の卸売市場においても、市場内事業者が事業継続できるよう取り組んでまいります。
29	15	3	P30 余剰地の活用にブラウブリッツ秋田の活用を考えているようですが、サッカーに興味のない市民としては、税金のムダにならないように検討して下さい。	余剰地(市有地)の賃貸借による歳入を活用して、市の財政負担や市場内事業者の市場使用料の軽減を図ることとしており、現時点においては、サッカーJ2リーグに所属するブラウブリッツ秋田の本拠地となる新スタジアムの整備を想定しております。
30	16	1	P5, P19 素朴な疑問ですが、資料を見ると現在民有地上のAコープの場所に、物流センターが建設されるように見受けられますが、市有地、民有地面積は変わらずでよろしいのでしょうか。 Aコープの撤退?に対しては市から何らかの費用支出があるのでしょうか。	再整備に伴い、民有地(JA全農あきた敷地)の取得を予定しており、今後関係者と協議を進めてまいります。
31	17	1	P3 (3)再整備の方法 ア.必要となる機能にあげられている施設は必要だと思います。	再整備後の卸売市場に必要な機能について、引き続き市場内事業者と協議を行い検討してまいります。

No.	一覧 No.	番号	意見	意見に対する市の対応方針
32	17	2	P4 ウ 再整備パターンの検討 パターン1は施設がちらばりすぎでパターン3は少なすぎます。 管理棟は水産・青果の中央にあったほうがいいと思います。 出荷調整できる一時冷蔵保存施設があれば価格調整や出荷調整ができるかなと思いました。	再整備後の施設配置・規模については、市場内事業者との協議にて検討を進めてまいりました。 冷蔵庫等の一時保管場所については、卸・仲卸事業者が各社で売場および買荷保管所に、必要に応じ設置する予定としております。
33	18	1	P47 京都市中央卸売市場みたいに見学エリアを設けることはできないのか。	基本計画の策定に当たり、これまで、施設の配置、売場や買荷保管所、事務所の必要な規模について市場内事業者と協議し、概算事業費および市場使用料の検討を行ってきました。 見学エリアの設置については、今後の設計段階において、設置の有無・規模について検討してまいります。
34	18	2	P29 フレッシュ交流館とは？ 食堂1・2、店舗1～7は一般の人でも使えるの？ 市場開放デー以外でも、一般の人になじみやすくしてほしい。	フレッシュ交流館は、市場活性化事業として、現在指定管理者において料理教室等のイベントを開催しております。再整備後も同様の利用が可能なスペースとして設置を予定しています。 また、食堂についても、一般利用が可能となるよう検討を進めております。
35	19	1	P30 余剰地の活用の資金をあてにしない施設（市場）作りを目ざしてほしい。	卸売市場の再整備においては、整備後に現敷地の北側に約4万1千平方メートルの余剰地が生まれる見込みとなっており、その賃借料は、普通財産貸付料算定基準により年間で約2千5百万円と見込んでおります。 この歳入を市場の運営管理費に充てることにより、市場使用料の圧縮や市の財政負担の軽減につながるものと考えております。
36	19	2	新しい施設にお金をかけずとにかく水道管等のインフラを整備して、安心・安全な町づくりを考えてほしい。	現在の施設は、昭和50年の開場から50年近くが経過しており、経年劣化による施設や設備の老朽化が進行し、改修や修繕に多額の費用を要しているほか、施設が開放型であるためコールドチェーン等に対応した構造となっていないため、市場内事業者が事業継続できるよう改修が必要と考えております。インフラ整備については、関係部署にお伝えいたします。
37	20	1	P2 強み（S）を活かして、今後の脅威（T）に対応していく事が市場存続につながると思う。	本市場の長期的なあり方を考慮した施設の規模・機能について、引き続き市場内事業者と協議を行い検討してまいります。